

令和2年度 東海大学望星技術士会第6回役員会 議事録 (HP版)

- 1 日時：令和2年11月28日(土) 14:00～16:30
- 2 場所：ZOOMによるリモート会議
- 3 リモート出席：(常)森修次、(常)笠原勉、(常)平野滋、(常)永井和典、(常)庄司大介、太田芳雄、星崎紀一、畑恭子、久一博世、今村均、桜井裕一、中村憲一、(常)齋藤寛(記録) (常任幹事7名中6名出席)
委任：(常)綿貫啓、中島輝正 (常任幹事1名委任、幹事1名委任)
- 4 打ち合わせ内容
 - ① 会報編集について
 - ・会報の項目構成、担当者作業分担を決定。新たに「会員インタビュー」(ZOOMによる)、「会員自己紹介」(全員を対象に出身学科、卒業年度、技術士部門など項目を決めてメール配信で依頼)を設定。
 - ・会員インタビューは対象者1人選定を想定。候補者が複数であれば、テーマを決めてグループインタビューという案もあるが今回は見送る。会報の枠ではなく技術士のリモート鼎談などイベントにできそうである。
 - ・川上先生に会長挨拶文、梶田先生に挨拶文をお願いする。また、久一さんに寄稿をお願いする。
 - ・会報は会員向けと学生への配布の両方を意識する。学生への配布は、技術士資格に興味を持つ学生に手わたることが重要である。技術士資格取得(一次試験)につながるなど興味を持たせる内容が有効である。
 - ・連絡事項に技術士制度、試験制度の変更等新たな情報の掲載を考える。
 - ② 土木工学科・建築学科の在学生へのリモート講義について
 - ・土木工学科12/16、12/23の5限目、建築学科1/14の1限目で予定、30分前に集合する。プレゼンデータはUSBで当日持参。
 - ・講師の講義概要紹介。
 - ・今回の取組みは、来年度以降も継続行事とすることや、他学科への広がりにつなげることを目指す。
 - ③ ホームページの改善について
 - ・大学の本会HPでGoogleフォームの利用(リンク)は可能。会員の書込みツールとして利用する。
 - ・現状の大学のHPにパスワードの設定はできない。会員専用ページの整備については継続協議とする。
 - ④ 活動資金の確保について
 - ・会員の任意として考え、会費制ではなく寄付か協力金の位置づけがよい。今後の支出の想定を含め継続協議とする。
 - ⑤ 会員名簿の活用について
 - ・会員が名簿の閲覧ができれば地方会員も相互交流の機会をつくることのできるが、公開用の情報の整理、会員の同意などが必要。継続協議とする。
 - ⑥ その他
 - ・土木工学科ではJABEEコースはないが、当面在学生に向けて技術士第一次試験受験を後押ししていく。
 - ・大学技術士会連絡協議会幹事校への参画要請に対し、受けることとして回答する。
 - ・来年度の総会は、5～6月にコロナ禍の状況に応じて開催方法を考える。リモート開催、メール総会などを検討し、3月中には方針を決める。大学としての行事開催の対応方針を大学校友課に確認する。
 - ・本会が大学同窓会の正規団体か、同窓会HPにリンクをはれるかについて、大学校友課に確認する。
- 5 次回役員会 令和2年12月19日(土)14:00～ ZOOMによるリモート開催とする。